

※美術画廊・ギャラリーNEXTは原則毎週火曜日を準備日とさせていただきます。
店舗の営業日・営業時間等につきましては高島屋ホームページにて最新情報をご確認ください。
※作品の販売に関するお問い合わせは、美術画廊係員までお願いいたします。

12月24日(水)～1月5日(月) ※12月30日(火)は開催いたします。

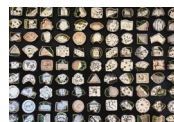
現代工芸家による **新春を寿ぐ酒器展**

近畿圏を中心に活躍し、21世紀のアートシーンを牽引する作家21名による、酒器をメインとするグループ展を開催いたします。今展では陶磁器とガラス素材の杯、ぐい呑、徳利、片口などの酒器に加えてお正月の床飾りや、お初釜の茶器としてお使いいただける各作家の作品も同時に展覧いたします。

【陶磁器】
井倉 幸太郎
大上 裕樹
小孫 哲太郎
中村 宏太郎
前田 あかね
山田 浩之
加藤 千佳
田仲 哲也
井尻 杏那
鍵谷 雅美
鹿谷 敏文
橋本野 淑子
松田 昂
渡辺 大輔
佐々木 伸佳
以上21名
白藤 晴久
(素材別・敬称略・50音順)

美濃 **安洞 雅彦 織部展**

安洞雅彦先生は1973年名古屋にて祖父の代から続く古美術商に生まれ、当初の音楽活動の生活から一転2002年より陶芸の道へ進まれました。初個展となる今回は代表作である数百種に及ぶ織部や志野の豆向付をはじめ、御深井焼の向付、黒織部、鳴海織部、織部黒、総志野などの茶器や酒器、美濃唐津の作品など、まさに「へがれもの」として名を馳せた古田織部好みのつづわを一堂に展覧いたします。



「織部豆向付 各種」
(およそ10×10×高さ3cm前後)

1月7日(水)～12日(月・祝)

ー日本ー HINOMOTO Ⅲ **奥谷 博 展** 藝術無終

本展では、『月刊美術』にて描き下ろし連載「藝術無終」(2024年9月～2025年8月)の作品原画もあわせて展覧いたします。「私にとって絵を描くことは、生きることだ。」と語る、文化功労者にして、文化勲章を受章された奥谷博先生の祈りの言霊を、この機会にぜひご高覧賜りますようご案内申し上げます。

「ギャラリートーク」 ■1月10日(土)午後3時から

「HINOMOTOー ひ潮みち潮」(150F 181.8×227.3cm)



1月14日(水)～19日(月)

現代書道二十人小品展

『第70回現代書道二十人展』の開催に併せ、美術画廊では現代書道二十人展にご出品の書家による小品展を開催いたします。大作とは異なった、凝縮された気と美の作品をぜひご高覧ください。

〈出品書家〉
新井 光風 石飛 博光 岡野 楠亨 尾西 正成 角元 正燦
倉橋 奇艸 黒田 賢一 近藤 浩乎 高木 聖雨 高木 厚人
土橋 靖子 中村 伸夫 永守 蒼穹 星 弘道 真神 巍堂
柳澤 朱篁 吉川 蕉仙 吉川 美恵子 吉澤 鐵之 綿引 滔天
(敬称略・50音順)

1月21日(水)～26日(月)

竹内 康行 展 ーフランスの四季と、日本の四季ー

フランスと日本、それぞれの四季をテーマに、季節の移ろいの中で変化する建物や人々の姿、そして空気や光の色合いを描いた作品の数々を展覧いたします。異なる風土が生み出す四季の表情や、美意識の違いを通して、両国それぞれの豊かな季節感を堪能ください。



「秋のチュイルリー公園」(30×70cm)

小島 陽介 作陶展

小島先生は穴窯で焼く、伊賀らしい焼き締めをはじめ、唐津・高麗・磁器・銀彩と引き出しが豊富です。修行時代、料理人としての勉強もされていたこともあり、プロの料理人からも高く支持されています。ぜひご高覧ください。



「伊賀壺」(26.5×26.1×高さ 25.7cm)

1月28日(水)～2月2日(月)

有本 空玄 作陶展

広島で作陶している有本空玄先生の個展を開催いたします。志野一筋で活動している先生ですが、現在は、柿渋と名付けた楽焼や樫の木の灰を使った灰釉も手掛けています。今回の個展では、縄文をテーマに芸感を広げつつある有本先生の勢いを感じる内容の展覧になります。ぜひご高覧くださいようご案内申し上げます。



「樫灰大皿」(55.8×55.8×高さ5.5cm)

佐々木 麦 展 ーかたまらないわたしー

限りなく単純化され描かれた作品の中にも、写実的に描いた以上のリアリティを実感することがあります。今展では、滋賀の自然からイメージした、色と形が連鎖する中で生まれた作品30余点を展覧いたします。

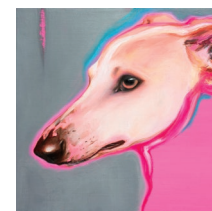


「Border.2.25.1」(30P)

※美術画廊・ギャラリーNEXTは原則毎週火曜日を準備日とさせていただきます。
店舗の営業日・営業時間等につきましては高島屋ホームページにて最新情報をご確認ください。
※作品の販売に関するお問い合わせは、美術画廊係員までお願いいたします。

12月24日(水)～1月5日(月) ※12月30日(火)は開催いたします。

おお かわら あい **大河原 愛 鼓膜に残る静寂を優しさに変えるすべについてⅡ**



13年ぶりの大河原愛先生の個展となります。豊かと言われる現代社会が置き去りにしている人々…そこに寄りそうまなざしを油彩、ミクストメディア、コラージュ作品、約25点の新作から感じていただけたら幸いです。

「光降る森17」(30.2×30.2cm)

1月7日(水)～19日(月) ※1月13日(火)は開催いたします。

やま ば はる き **山羽 春季 展 ー妖精の丘ー**

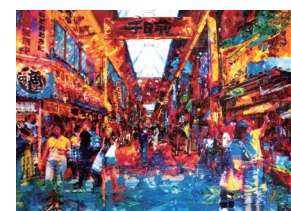


フィギュアスケーターの演技に感動したことから始まったコマ送りの表現。山羽春季先生の作品は静のイメージが強い日本画界において強いインパクトを残します。精霊や妖精のような小さな踊り手たちの愛らしさをお楽しみください。

「精霊たち」(3号)

1月21日(水)～2月2日(月) ※1月27日(火)は開催いたします。

くり はら かん じ **栗原 莞爾 展 THE CITY**



写真とデジタル画像を繰り返しコラージュすることで熱転写シートを絵具代わりに表現する独自の技法を確立。待望の初個展では実際に足を運んで感じた大阪のリアルな空気とそこに潜む空気が共存する新作、約20点を展覧いたします。

「#osaka #sennichimae」(30P)